

### 第3・4学年 社会科学学習指導案

平成27年??月?日(?) 第?時限 教室 大盛 伸也

#### 1 単元名 下山学区のために働いた人々

#### 2 単元目標

- (1) 下山地区のために働いた人々の働きに興味をもち、見聞したことや資料を生かして、その苦勞や願いを知ろうとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 先人の働きによって地域がどのように発展したのかを具体的に知ることができる。(思考・判断)
- (3) わかったことをメモにまとめたり、考えたことを発表したりすることができる。(技能)
- (4) 地域の発展に尽くした先人の働きによって、地域の人々のくらしが向上してきたことが分かる。  
(知識・理解)

#### 3 児童と教材

##### (1) 児童のとらえと願い

本学級は3年児童2名(男子2名)、4年児童7名(男子2名、女子5名)の複式学級である。男子4名は明るく、元気である。特に4年生の児童A、児童Bは普段の発言も活発であり、学級の雰囲気を作っている。そんな2人を3年生の2人も慕っている。女子は児童Cが中心となっている。その力が強すぎるためか、他の女子4名はおとなしく、消極的な面も見られる。

学習に対しては、児童A、児童B、児童Cが活発に発言をしている。他の児童も、算数など、答えがはっきりとしている課題のときには進んで発言をしようとしている。しかし、国語の読み取りなどでは発言をためらう場面もある。また、1つの課題に対して一度発言すればいいと考えている様子も見られる。

下山学区はその広さの割に世帯数が少ない、過疎化の進んでいる地区である。その分、学区の人々のつながりは強く、スクールガードボランティアや、学校田での活動など、学校の教育活動にも積極的に協力してくださっている。こうした学区の人々の協力に、児童たちの日々の生活は支えられている。

「自然が多い」「学校のみなが仲良し」。下山の良さを聞くと児童からはこのような答えが返ってくる。児童の意識は下山の地区のつながりの良さにまでは至っていない。9年前の市民体育祭。地区の人たちは、まるで自分の子供のように下山小児童に声をかけ、応援していた。その姿に感じたのは、「下山学区は大きな家族」ということだった。このつながりの強さ、良さを児童たちにより意識させたい。そして、10年後、20年後に学区の中心となる児童たちに「ふるさと下山」を愛する気持ちを育みたいと願った。

##### (2) 教材のとらえ

歴史上、下山学区には突出して郷土の発展のために尽力した人物は見受けられない。しかし、「おらが村」のために地域の多くの人々が協力している。その事例として、「下山街道の改修」「下山小学校のプール作り」「山桜の保存活動」を取り上げる。

下山街道の改修は明治23年ごろから行われている。田畑や川に沿い、曲がりくねっていた坂道を2.7メートルの幅に広げた工事である。その後、馬車や自動車や普及に伴い、道路の幅をさらに広げる必要が出て、昭和2年から保久(地区)の人々により再改修された。トロッコやもっこを使い、土を運ぶ作業の苦しさを、実際にもっこを担いで重さを体感することで感じさせたい。また、「道きちがいの村」と近隣の村に揶揄されていたことを児童たちに伝え、そんな中でもおらが村のために尽力した人々の気持ちを考えさせたい。

「下山小学校のプール作り」では、学校のために尽くしてくださった人々の姿をとらえさせたい。1969年に完成した下山小学校のプール。それは、当時、川遊びや水泳が十分にできる環境でなかった下山小学校児童の泳力の低さを心配した学区の人々の思いから作られたものであった。PTAにより、1キロメートルほどの送水管を埋設する工事が行われたこと、小中学生全員で資材運びなどの手伝いをしたことを、写真や実際に歩いてみることで理解させ、その苦勞を考えさせたい。

「山桜の保存活動」では、今の下山地区の人々の姿に触れさせたい。校庭にある樹齢300年余の山桜は学校のシンボルであり、春には「山桜を愛でる会」として、地区の人々の集まる場となっている。この山桜は地区の人々が苔とりなどの作業を行い、大切に守ってきているものである。保存に関わっている人たちの姿から、地域の自然を守ろうとする心、地域の人々のつながりを大切に作る気持ちに気付かせ、児童たちにも故郷を愛する気持ちを高めてほしい。

本単元を通し、児童たちが下山学区にさらに愛着をもち、学区のためにできることを考えていってほしいと願っている。

#### 4 単元構想 (全7時間)

伝え合う力を育むための手立て	予想される学習活動	時数	教師支援 <u>個への支援</u>	評価
ワークシート	<p>○「下山街道の改修」について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタのテストコース造成に伴う道路整備工事の写真を見て、工事の大変さに気付く。</li> <li>・古くに下山街道の工事があったことを知り、どのような苦労があったのかを考える。</li> <li>・資料を読み、当時の人々の苦労、思いを考える。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストコース造成の様子を想起させるために、どのような重機があったか、工事の車を見たことがあるかなどを聞く。</li> <li>・下山街道の工事の大変さを理解させるために、もっこを担ぐ活動を行う。</li> <li>・「道さちがいの村」とまで言われながらも工事をした人々の姿から、地域のために尽力した人々の姿をつかませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の働きによって、交通の便が良くなったことを理解できたか。(思考・判断)</li> </ul>
ワークシート	<p>○下山小学校のプールはどのように作られたのか知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前畑秀子さんの言葉の書いてある碑の写真を見て、下山小学校のプールについて学習することを知る。</li> <li>・工事の様子の写真から、地区の人たちや、学校の児童、生徒がどのような気持ちで参加しているのか考える。</li> <li>・水源からプールまで歩いたり、地面を掘ったりして、その距離と工事の大変さに気付く。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>歩くだけで工事の大変さが理解できない場合は、実際に掘ってみたり、前時の工事の様子を思い出させる。</u></li> <li>・今自分たちの泳力を思い起こさせ、当時の資料と比べさせることで、当時の子の泳力の低さを理解させ、地域の人たちの思いを想像させる。</li> <li>・地区の人々の「児童に泳げるようになってほしい」という思いと、前畑さんの「一に努力…」の言葉を関連させ、思いをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人たちの、学校への思いを知ろうとすることができたか。(興味・感心・態度)</li> </ul>
ワークシート	<p>○地域のために活躍している人はだれがいるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、地域のためにどのような活動があるのかを考える。</li> <li>・炭焼きやササユリ保護、山桜保護などの活動をだれが行っているか調べ、発表する。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の年間行事を写真と共に紹介し、どのような活動があるのかを考えさせる。</li> <li>・学習について家庭にも知らせ、児童が聞き取り調査がしやすいように配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことをまとめることができたか。(技能)</li> </ul>
ワークシート	<p>○地域の活動を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山桜の苔とり作業の写真を見て、その大変さを考える。</li> <li>・どうして苔とりをしているのかを考える。</li> <li>・苔とり作業をしている人の思いを聞く。</li> <li>・作業をしている人の話を聞いて、思ったことをワークシートにまとめ、発表する。</li> </ul>	1本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>全員指名をし、学習への参加意識を高める。</u></li> <li>・「山桜を愛でる会」の写真も提示し、山桜が地域の人々を結び付けていることを理解させる。</li> <li>・ゲストティーチャーの杉浦さんと打ち合わせをし、地域を結ぶシンボルを守っているという思いを語ってもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のために活躍する人の姿を通して、地域への思いを高めることができたか。(関心・意欲・態度)</li> </ul>
ワークシート ペア対話	<p>○学習を振り返り、思いをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を通して、地域への思い、自分のしてみたいことなどをまとめる。</li> <li>・自分の思いを、ペア、全体で伝え合う。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>前時までの学習を思い出せるように、資料を提示し、振り返らせる。</u></li> <li>・<u>書きだせない児童には個別に対話し、印象に残っていることを聞き出す。</u></li> <li>・全員に発表させ、自分の学びを認識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを振り返り、自分の思いを発表することができる。(技能)</li> </ul>

## 5 本時の指導

### (1) 目標

- ・山桜を守っている人の地域への思いを知ること、地域のために活動することの大切さ、将来、地域のために活動したいという思いをもつことができる。

### (2) 伝え合うための力を育むための手立て

- ・意図的指名、ワークシート

### (3) 展開 (45)

段階	予想される学習活動	教師支援 個への支援
導入 (5)	<b>1 前時までの学習を振り返る。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山桜を愛でる会で山田さんが活躍しているよ。</li> <li>・おじいちゃんが炭焼きをしているよ。</li> <li>・2月には山桜の苔とりもあるよ。</li> <li>・通学の時、ついてきてくれるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模造紙にまとめ、掲示しておくことで振り返りやすくする。</li> <li>・<u>学習に全員が参加できるように、同じ意見で発言をためらっている児童も意図的に指名し、発言させる。</u></li> <li>・山桜のことを中心に板書し、課題を焦点化する。</li> </ul>
展開 (30)	<b>2 本時のめあてをつかむ。</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     山桜の苔とりは何のためにしているのか考えよう。                 </div> <b>3 苔とりの写真を見て、どんな苦労があるか考える。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高いから危ないし、怖いと思うよ。</li> <li>・とても寒そうだよ。</li> <li>・切った枝を運ぶのも大変そうだよ。</li> </ul> <b>4 苔とりをしている人たちはどのような願いをもっているのだろう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいに咲いてほしいと思っている。</li> <li>・大切な木だから守ろうと思っている。</li> <li>・山桜を愛でる会を楽しみにしているんだと思う。</li> </ul> <b>5 苔とりをしている人(杉浦立美さん)に話を聞こう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱり大変な作業なんだな。</li> <li>・みんなが山桜の咲くのを楽しみにしているからやっているんだ。</li> <li>・山桜は下山のみんなを結んでいる。</li> <li>・いつまでも山桜に元気でいてほしいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容を知らせる。</li> <li>・枝に上っている写真、クレーン上での作業の写真、枝を運ぶ写真を掲示する。</li> <li>・高さ、服装、人数に着目させ、作業の危なさ、寒さ、力が必要であることをつかませる。</li> <li>・実際の山桜を見て、枝の細さ、高さをつかませる。</li> <li>・「大切だから」などの言葉から、「どうして大切なの」と発問し、大切だと思う理由を考えさせる。</li> <li>・「山桜を愛でる会」の写真を提示し、人々が集まっている様子に気付かせる。また、参加した時の感想を聞き、楽しい会であることを確認する。</li> <li>・苔とり作業の中心となっている杉浦さんをゲストティーチャーに招き、話をしていただく。</li> <li>・事前に打ち合わせをしておき、山桜が下山のシンボルであること、人々の結びつけていること、その結びつきを守るのも活動の理由であることを語っていただく。</li> </ul>
整理 (10)	<b>6 今日学んだことをまとめよう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下山のみんなのために山桜を守っていてくれてうれしい。</li> <li>・いつまでも山桜を愛でる会でみんなが集まるといいな。</li> <li>・山桜のためだけじゃなく、下山に住んでいる人のことを思ってくれているんだと分かったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの本時の感想を書くように指示する。</li> <li>・<u>書き出せない児童には個別に対話をし、今日の授業で印象に残っていることを基に考えさせる。</u></li> <li>・「自分もやってみたい」という内容や、将来の自分の活動を考えている児童がいれば称賛する。</li> <li>・今日の授業での話も下山に暮らす児童たちのためであることを押さえ、講師の先生にお礼を言わせる。</li> </ul>

### (4) 評価

- ・苔とりをしている人の思いを理解し、地域に対する自分の思いをもつことができたか。

(活動6のワークシート・発言より)